TOTO

保　証　書

この保証書は、保証書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お取付日から下記期間中故障が発生した場合は、この保証書をご提示のうえ、お取付店又は東陶メンテナンス(株)
0120－1010－05に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様
	おところ〒	
お取付店名	〒　TEL　－　－	印
お取付日	年　月　日	

品　番	TCF6010，TCF6011 TCF6020，TCF6021 TCF6030，TCF6031
保証期間	お取付日から1ヵ年

★お客様へ
本書をお受け取りになるときに、お取付店名、扱者印、お取付日が記入されていることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

〈無料修理規定〉
1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合は、表記の期間無料修理いたします。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店または東陶メンテナンス(株)にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
3．ご贈答品などで本書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、東陶メンテナンス(株)にご相談ください。
4．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- お取付後の移設などに起因する故障及び損傷
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）、塩害、異常電圧による故障及び損傷
- 製品の凍結による故障及び損傷
- 指定外の電源（電圧、周波数）、異常水質による故障及び損傷
- 車輛、船舶などへの搭載に使用された場合の故障及び損傷
- ゴミかみによる不具合
- 日常のお手入れ箇所（水抜栓やフィルターなど）のOリングやパッキンの摩耗劣化による不具合
- 本書の提示がない場合
- 本書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

〈部品交換について〉
無料修理により交換された部品・製品は東陶機器(株)の所有となります。

※本書は上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、TOTOお客様相談室または東陶メンテナンス(株)にお問い合わせください。

愛情点検	ときどきウォシュレットの点検をしましょう!			
	こんな症状はありませんか？	・コードを動かしたりすると、電源が切れたり入ったりする。 ・電源プラグやコード及び本体などが異常にあつい。 ・本体から異常な音やにおいがする。 ・本体から水漏れしている。	▶	このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、必ず東陶メンテナンス（株）にご相談ください。 ※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。

商品のお問い合わせはTOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

補修部品のご購入はTOTOパーツセンターへ
0120-8282-55
受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理についてのご用命は東陶メンテナンス㈱へ
0120-1010-05
受付(年中無休)
受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00
：上記以外の地区 9:00～20:00
訪問修理(年中無休)
営業時間： 9:00～18:00

東陶機器株式会社
インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/
2004.7.28
D06586R

TOTO

取扱説明書

保証書付

定期点検情報掲載

ウォシュレットSA・SB・SC
TCF6030・TCF6020・TCF6010
TCF6031・TCF6021・TCF6011

工事店様へのお願い
貴店名ならびに据付け引渡日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

■このたびは、TOTOウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■この説明書は保証書付ですので大切に保存し、必要なときにお読みください。

1 安全上のご注意

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

安全のために必ずお守りください

●表示と意味は次のようになっています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
分解禁止	⃠は、してはいけない「禁止」の内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
必ず守る	❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。左図は、「必ず守る」を示します。

⚠警告

低温やけどに注意する

●ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
●次のような方が暖房便座や温風乾燥をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」、乾燥の温度調節を「低」にしてください。

必ず守る

- ●お子様，お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
- ●病気の方，身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
- ●眠気を誘う薬（睡眠薬，かぜ薬など）を服用された方，深酒をされた方，疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方

強い力や衝撃を与えない

●本体がはずれて落下し、転倒してけがをする原因になります。

必ず守る

※座る動作に障害のある方がご使用になる場合は、過剰な横荷重が加わることにより、便座がはずれて転倒しけがをすることがありますので、固定部を専用部品に取り替えてください。（有料）
取り替えは東陶メンテナンス（株）へご依頼ください。☞28ページ

故障したままでウォシュレットを使いつづけない

●次のようなときは、漏電保護プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

禁止

故障とは…
- ●配管や本体から水漏れしている
- ●異音，異臭がしている
- ●製品が異常に熱い
- ●製品にひびや割れが入っている
- ●製品から煙がでている

●故障したまま使いつづけると、火災や感電，室内浸水の原因になります。
☞アフターサービスは28ページ

浴室など湿気の多い場所には設置しない

●火災や感電の原因になります。

水場使用禁止

⚠警告

アース（D種接地）工事がされていることを確認する

●アース工事がされていないと故障や漏電のとき感電する原因になります。
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

アース接続

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、漏電保護プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

ぬれ手禁止

漏電保護プラグのコードや便座コードを破損するようなことはしない

傷つけない、加工しない、加熱しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、便器と便座の間にはさまない

●傷んだまま使用すると火災，感電，ショートの原因になります。

禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない

●火災や感電の原因になります。

分解禁止

漏電保護プラグに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

●火災や感電の原因になります。
●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ず守る

ガタついているコンセントは使わない

●火災や感電の原因になります。

禁止

本体や漏電保護プラグに水や洗剤をかけない

●火災や感電の原因になります。

水かけ禁止

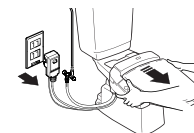
水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない

●皮膚の炎症などを起こす原因になります。

禁止

本体を取りはずしてお手入れをするときは、漏電保護プラグを抜く

●感電の原因になります。

プラグ抜き励行

漏電保護プラグを抜くときは、必ず漏電保護プラグ本体を持って引き抜く

必ず守る

●コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

⚠注意

たばこなどの火気類を近づけない

火気禁止

● 火災の原因になります。

便座・便ふたや本体の上に乗ったり、重いものを載せない

● 割れてけがをする原因になります。

禁 止

温風吹出口に指やものを入れない

吹出口に手を置かない、衣服をかぶせない

● やけど，感電，焼損の原因になります。

禁 止

長期間使用しないときは水を抜き、漏電保護プラグを抜く

必ず守る

● 水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因になります。

☞ 水抜きのしかたは25ページ

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない

禁 止

● 水が噴き出します。

給水フィルター付水抜栓のお手入れは22ページ

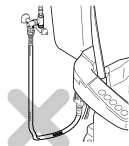
給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める

必ず守る

● 確実に締めないと水漏れの原因になります。

連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

● 水漏れの原因になります。

禁 止

お手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

〔トイレ用洗剤，住宅用洗剤，ベンジン，シンナー及びクレンザー，ナイロンたわしなど〕

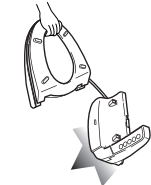
禁 止

● プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。

● 連結ホースを傷め、水漏れの原因になります。

便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

● 本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

禁 止

逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）の定期的な点検を行う

必ず守る

● 水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。

☞ 定期点検情報は28ページ

凍結による破損の予防を行うこと

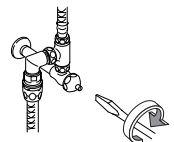
必ず守る

● 凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水漏れする原因になります。

● 暖房するなどしてトイレをあたためてください。

☞ 凍結による破損の予防は24ページ

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

必ず守る

2 使用上のご注意

次のことをお守りください。

本体，便座，便ふたは乾いた布やトイレットペーパーなどでふかない

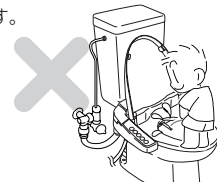
● 傷つきの原因になります。

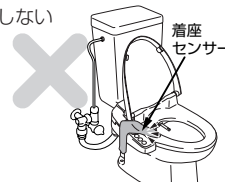
☞ お手入れのしかたは19ページ

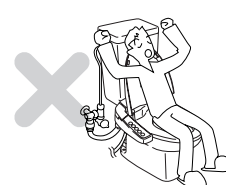
直射日光が当たらないようにする

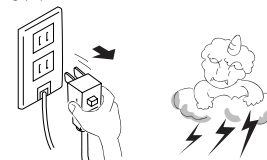
● 変色や暖房便座の温度ムラが生じる原因になります。

本体やノズルに小便がかからないようにする

● 故障の原因になります。

操作部側面の着座センサーをおおわない

● 着座センサーが作動しない原因になります。

便ふたに寄りかからない

● 便ふたが傷つく原因になります。

雷が発生しているときは、漏電保護プラグを抜く

● 故障の原因になります。

ラジオなどはウォシュレットから離して使う

● ラジオに雑音が入ることがあります。

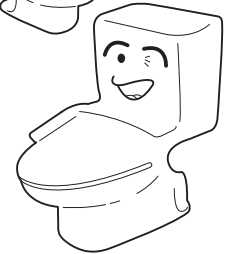
ウォシュレットの
機能を紹介します。
いろいろな機能を
おためしください。

洗浄機能		SA	SB	SC	参照ページ
おしり洗浄	● おしりを洗います。	○	○	○	10
やわらか洗浄	● ソフトな水流でおしりをやさしく洗います。	○	○	○	10
ビデ洗浄	● 女性のビデとして使えます。	○	○	○	10
水勢調節	● 水勢の強弱を調節できます。	○	○	○	10
ムーブ洗浄	● ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。	○	○	○	11

快適機能		SA	SB	SC	参照ページ
暖房便座	● 便座をあたためます。	○	○	○	12
温風乾燥	● ぬれた部分を乾かします。	○	—	○	11
温度調節	● 温水，便座，乾燥の温度を調節できます。	○	○	○	12, 13
脱臭	● 便器内のにおいをとります。	○	○	—	14
パワー脱臭	● 吸い込む力をアップさせて便器内のにおいをとります。	○	○	—	15
オートパワー脱臭	● 便座から立ち上がると自動的にパワー脱臭を行います。	○	○	—	15
ソフト閉止	● 便座・便ふたがゆっくり閉まります。	○	○	○	—
着座センサー	● 便座に座ると各機能がはたらきます。	○	○	○	10

アドバイス 1

製品名称，製品品番は便ふたの裏に記入しています。

節電機能		SA	SB	SC	参照ページ
タイマー節電	● 一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。(節電時間は､3･6･9時間のいずれかに設定できます｡)	○	○	○	16, 18
おまかせ節電	● トイレをあまり使用しない時間帯を記憶して、自動的に便座の温度を下げて節電します。	○	○	○	17, 18
運転入/切スイッチ	● このスイッチを「切」にすることで洗浄や暖房便座などの運転を停止して、こまめな節電ができます。	○	○	○	9

清潔機能		SA	SB	SC	参照ページ
便座・便ふた着脱	● 便座・便ふたが簡単に取りはずせます。お掃除も簡単です。	○	○	○	20
本体ワンタッチ着脱	● 本体がワンタッチではずせます。便器の奥まで簡単にお掃除できます。	○	○	○	21
抗菌	● 便座，スイッチなど直接肌がふれやすいところに抗菌処理をしています。	○	○	○	8
セルフクリーニング	● 洗浄の前後に、ノズル先端部を自動的にしっかり洗います。	○	○	○	—
ノズルまるごと洗浄	● ノズルが伸出・収納するときにノズル本体をしっかり洗います。	○	○	○	—
ノズルそうじスイッチ	● ノズルがお湯を出さずに伸出しますので、お掃除もラクにできます。	○	○	○	23

上手な節電のしかた

◎ 上手に節電して、地球環境を保護しましょう。

4 各部のなまえ

このページで各部のなまえをよくご理解していただき、その後のご使用にお役立てください。

本体

着座センサー
☞10ページ

便ふた 抗菌

ラベル
ラベルに製品の品番を記入しています。

給水フィルター付水抜栓
☞22ページ

止水栓
☞22ページ

漏電保護プラグ
☞22ページ

本体はずしボタン
(及び水抜きレバー)
☞21,25ページ

便座コード

操作部

ノズル
(ノズルヘッド 抗菌)
☞23ページ

暖房便座 抗菌
☞12ページ

アース線

連結ホース

補助操作部カバー

操作部

補助操作部 (カバーを開けて操作します)

止スイッチ

おしり洗浄スイッチ

ビデ洗浄スイッチ

乾燥スイッチ
(SA･SCのみ)

表示ランプ

表面シート

温度調節スイッチ

タイマー節電入／切スイッチ
☞16ページ

オート パワー脱臭入／切スイッチ
(SA･SBのみ)
☞15ページ

止　おしり　やわらか　ビデ　乾燥
ムーブ 入/切
運転　温水　便座　脱臭　節電中
パワー脱臭 入/切
温度調節　温水　便座　乾燥
タイマー節電 3 6 9 入/切
オート パワー脱臭 入/切
おまかせ節電 入/切　ノズルそうじ 入/切　運転 入/切
水勢　弱　強

やわらか洗浄スイッチ

パワー脱臭入/切スイッチ
(SA･SBのみ)

温度調節ランプ

おまかせ節電入／切スイッチ
☞17ページ

運転入／切スイッチ
☞9ページ

水勢調節スイッチ

表面シート 抗菌

ノズルそうじ入／切スイッチ
☞23ページ

(図はSA)

本体裏側

便座裏側

脱臭フィルター
(SA･SBのみ)
☞21ページ

ご使用前の準備と確認

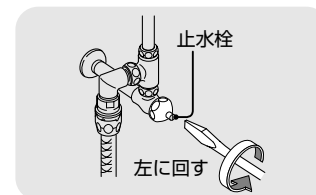
ウォシュレットを設置後、はじめてお使いになるときは、次の準備及び確認を行ってください。

準備

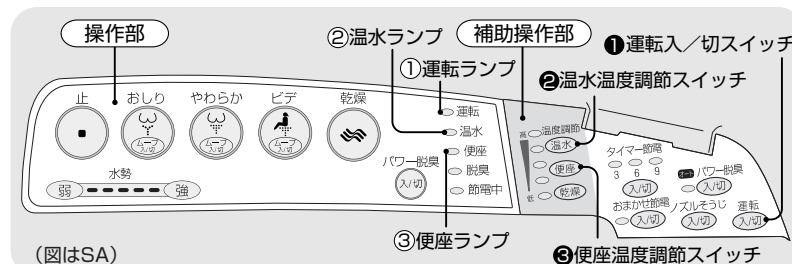
1 漏電保護プラグをコンセントに差し込む

- 「切表示」ランプが消灯していることを確認してください。
  「切表示」ランプが点灯しているときは、「入(リセット)」ボタンを押すと、「切表示」ランプは消灯します。
- 詳しくは☞22ページの「漏電保護プラグのお手入れ・点検」をご覧ください。

2 止水栓を開く

- ㊀ドライバーを使い、左に回すと開きます。

確認

3 運転・温水・便座ランプが点灯しているか？

- 「運転ランプ①」は点灯していますか？ ▶ 点灯していないときは、補助操作部の「運転入/切」スイッチ❶を押し、ランプを点灯させます。
- 「温水ランプ②」は点灯していますか？ ▶ 点灯していないときは、補助操作部の「温水温度調節」スイッチ❷を押し、ランプを点灯させます。
- 「便座ランプ③」は点灯していますか？ ▶ 点灯していないときは、補助操作部の「便座温度調節」スイッチ❸を押し、ランプを点灯させます。

6 使いかた

はじめてお使いに
なる方でも簡単に
操作できます。

アドバイス 1

着座センサーについて…

- 着座センサーは人が座ったことを検知するものです。
- 着座センサーからは下図のように光（赤外線）が出ています。

- 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなることがあります。
☞27ページ

アドバイス 2

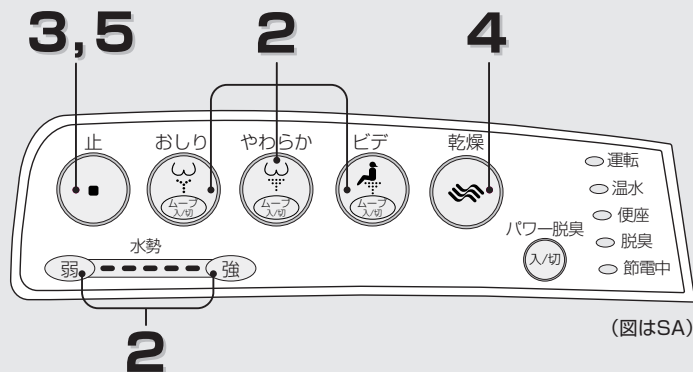
便座には深く腰掛けましょう！

洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

アドバイス 3

- 温水タンクは貯湯式ですので連続して使用するとお湯の温度が低下することがあります。

■ 標準的な使いかた

（図はSA）

1 座　る

着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。 ☞ アドバイス 1

- 脱臭がはじまります。（SA・SBのみ）
  パワー脱臭もお試しください。☞ 15ページ
- 洗浄，乾燥（SA・SCのみ）が使えるようになります。

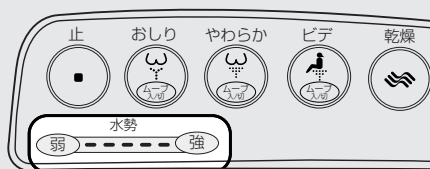
2 洗　う

❶ お湯を出します。☞ アドバイス 2

- おしり洗浄（おしり）又は やわらか洗浄（やわらか）を押す。

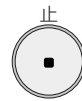
ソフトな水流がお好みのかたは、（やわらか）をご使用ください。

- ビデ洗浄（ビデ）を押す。

❷ 水勢を調節します。

3 止める

4 かわかす（乾燥）（SA・SCのみ）

- 温風を当て、さらりとさせます。
- トイレットペーパーでかるく水滴をとると早く乾きます。

5 止める

6 立ち上がる

- オートパワー脱臭がはじまり、約1分後に止まります。（SA・SBのみ）

☞ アドバイス 4

■ さらに快適な使いかた

快適洗浄 ムーブ洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

①   （おしり）（やわらか）（ビデ） ご使用になるスイッチを押します。

② もう一度スイッチを押すとムーブ洗浄をします。

③ 更にもう一度スイッチを押すとムーブ洗浄を止めます。

知っておいていただきたいこと

- 洗浄時、ノズルの根元から水が出ますが機能上必要なもので異常ではありません。
  ※洗浄中でないときに、連続して水が出るときは、故障と考えられます。
  止水栓を閉めたあと、お取付店，販売店又はTOTOメンテナンス㈱
  ☎0120-1010-05へご連絡ください。
- ノズルの右側からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので異常ではありません。

アドバイス 4

便座に座る時間が短いとオートパワー脱臭がはじまらないことがあります。

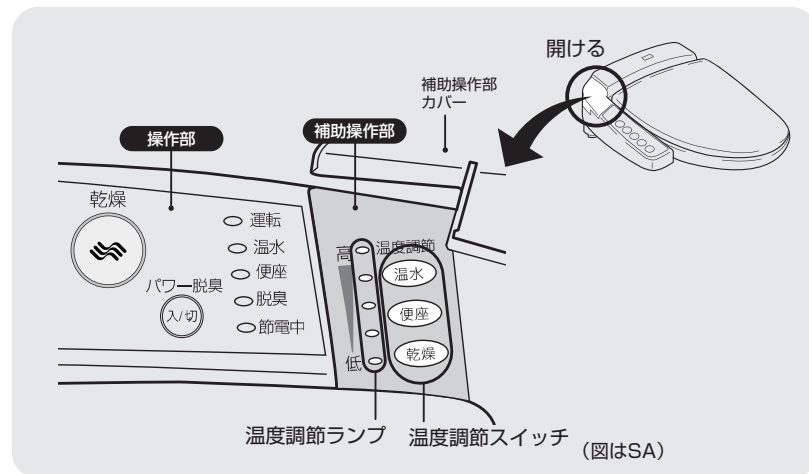
7 快適な機能

より快適にお使いいただくための機能をご紹介します。

温度調節のしかた

◎ 温水，便座，乾燥の温度は補助操作部の温度調節スイッチで調節できます。
お好みの温度でご使用ください。

■ 温度を変更したいとき

（図はSA）

❶ 補助操作部の温度調節スイッチを押す

● (温水), (便座), (乾燥)のうち、温度を変更したいスイッチを押してください。

温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

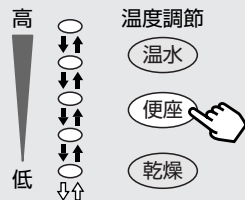
（(乾燥)スイッチはSA・SCのみ）

例）便座温度を変更する場合

便座温度レベルを表示

❷ お好みの温度レベルになるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

●スイッチを押すごとに温度調節ランプが切り替わります。 アドバイス 2

温度レベルの切り替わり方

温度調節ランプが消灯したら「切」になります。
（乾燥は「切」がありません）

アドバイス 1

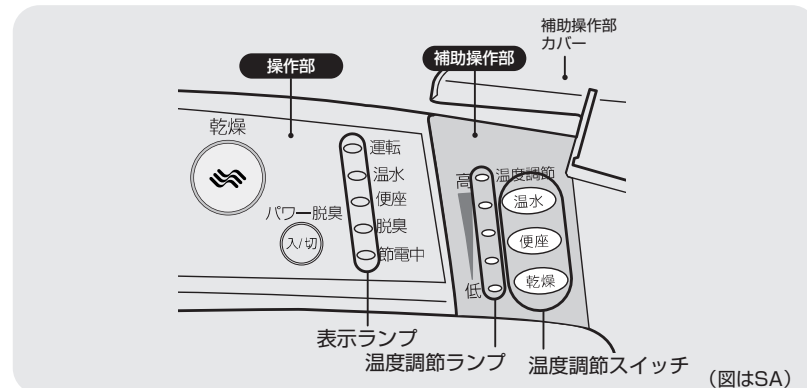
● 温度調節ランプは、温水･便座･乾燥温度の表示を共用しています。
温度調節スイッチを押したときのみ、押したスイッチの温度レベルを表示します。
（乾燥はSA･SCのみ）

アドバイス 2

● 温度調節中に約10秒間スイッチから手を離すと温度調節ランプは消灯します。
そのときは、もう一度スイッチを押してください。

■ 温水または便座を「切」にしたいとき

●乾燥は、温度調節スイッチで切ることはできません。

（図はSA）

❶ 補助操作部の温度調節スイッチを押す

● (温水), (便座) のうち、「切」にしたいスイッチを押してください。

温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

例）便座を「切」にする場合

❷ 温度調節ランプが消えるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

温度調節ランプが消灯し、「切」になります。

アドバイス 3

■ 温水または便座を「入」にしたいとき

❶ (温水), (便座)のうち「入」にしたいスイッチを押す

温度調節ランプが点灯し、「入」になります。

アドバイス 4

アドバイス 3

● 温度調節ランプの消灯と共に、表示ランプも消灯します。

アドバイス 4

● 温度調節ランプの点灯と共に、表示ランプも点灯します。

脱臭のしかた（SA・SBのみ）

標準の脱臭の使いかた

■ 脱臭を使うとき

◎ 便器内のにおいをとります。

❶ 便座に座る

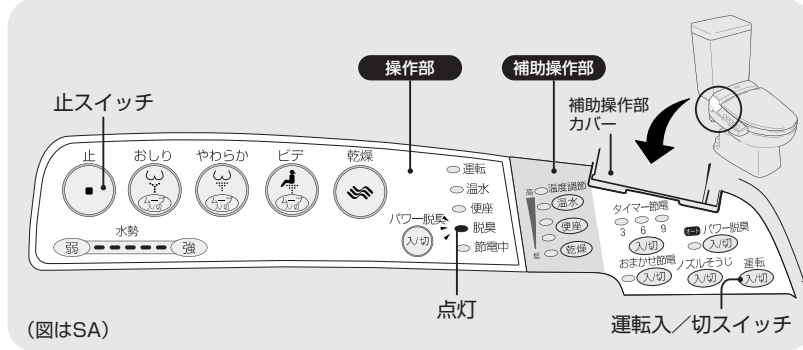
脱臭を始めます。

☞ アドバイス 1

● 操作部の「脱臭」ランプが点灯します。

アドバイス 1

● はじめは、脱臭は「入」に設定されています。

（図はSA）

❷ 便座から立ち上がる

約1分後に自動的に止まります。

● 操作部の「脱臭」ランプが消灯します。

■ 脱臭を使わないとき

❶ 操作部の「止」スイッチを10秒間押す
● 操作部の表示ランプがすべて点滅します。

❷ 補助操作部の「運転入／切」スイッチを押す
● 操作部の「脱臭」ランプのみ点滅します。

❸ もう一度、「運転入／切」スイッチを押す
●「脱臭」ランプが消灯します。

❹ もう一度、「止」スイッチを押す

標準の脱臭，オートパワー脱臭をやめます。

● パワー脱臭のみ使えます。

■ 再び脱臭を使うとき

❶ 操作部の「止」スイッチを10秒間押す
● 操作部の表示ランプがすべて点滅します。

❷ 補助操作部の「運転入／切」スイッチを押す
● すべてのランプが消灯します。

❸ もう一度、「運転入／切」スイッチを押す
●「脱臭」ランプが点滅します。

❹ もう一度、「止」スイッチを押す

パワー脱臭の使いかた

■ パワー脱臭を使うとき

◎ 便座に座って、においが気になるときに、吸い込む力をアップさせて便器内のにおいをとります。 ☞ アドバイス 2

❶ 操作部の「パワー脱臭入／切」スイッチを押す

パワー脱臭を始めます。

操作部
パワー脱臭入／切スイッチ

■ パワー脱臭をやめるとき

❶ もう一度「パワー脱臭入／切」スイッチを押す

標準の脱臭風量に戻ります。

☞ アドバイス 3

オートパワー脱臭の使いかた

■ オートパワー脱臭を使うとき

◎ 便座から立ち上がると自動的にパワー脱臭を行います。

● 補助操作部の、「オート パワー脱臭」ランプが点灯していることを確認してください。

❶ 便座から立ち上がる

オートパワー脱臭を始めます。

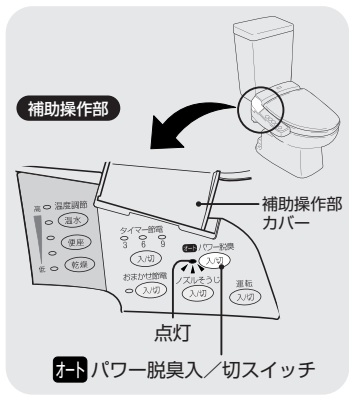
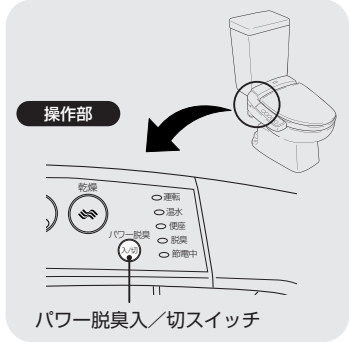
☞ アドバイス 4

● 約1分後に自動的に止まります。

■ オートパワー脱臭を使わないとき

❶ 補助操作部の、「オート パワー脱臭入／切」スイッチを押す

オートパワー脱臭をやめます。

● 補助操作部の「オート パワー脱臭」ランプが消灯します。

アドバイス 2

●「パワー脱臭」は、便座に座らないとはたらきません。
一旦便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。

アドバイス 3

●「パワー脱臭」を切らずに、立ち上がった場合は、約1分後に止まります。

アドバイス 4

● はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。

8 節電機能

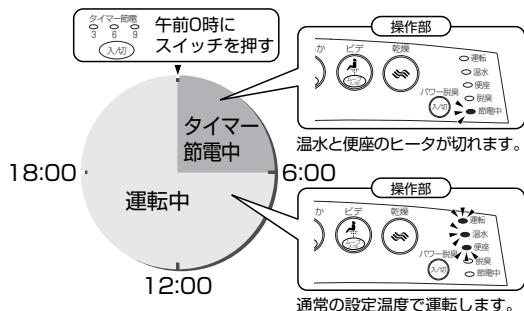
節電を上手に行っていただくための機能をご紹介します。

タイマー節電のしかた

タイマー節電とは…

◎ 一度設定すると毎日その時間に自動的に節電します。
タイマー節電中は温水と便座のヒータが切れます。

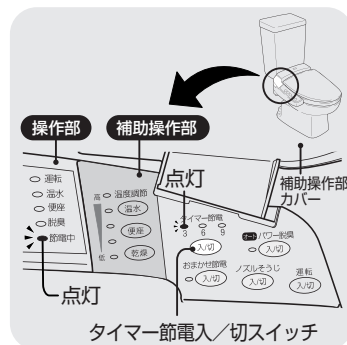
■ 例えば…
午前0時から6時まで節電する場合

● 翌日からも自動的に、同じ時間帯に節電します。

■ タイマー節電をするとき

❶ 節電を開始したい時間に補助操作部の「タイマー節電入／切」スイッチを押す

節電を始めます。

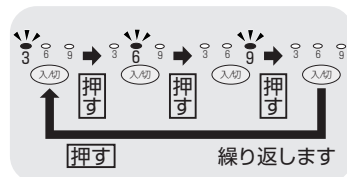
● 補助操作部の「タイマー節電」ランプ「3」が点灯します。
● 操作部の「節電中」ランプ(みどり色)が点灯します。

アドバイス 1・2

■ 節電時間の変更

◎ 3・6・9時間のいずれかに設定変更ができます。

❶「タイマー節電入／切」スイッチを押す

● スイッチを押すごとに3→6→9→切(ランプ点灯なし)の順でランプ表示が変わります。
設定したい時間をお選びください。

押す　押す　押す　押す　繰り返します

■ タイマー節電をやめるとき

❶「タイマー節電」ランプが消えるまで「タイマー節電入／切」スイッチを押す

節電をやめます。

● 操作部の「運転」・「温水」・「便座」ランプが点灯します。

アドバイス 1

タイマー節電中でも使えます

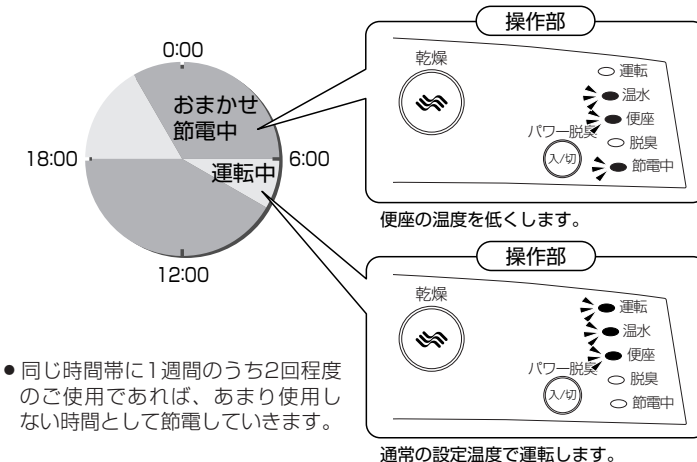
● 節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒータが入ります。
● 温水になるまで約10分かかります。
● 便座があたたまるまで約15分かかります。

アドバイス 2

● 節電開始時間を変更したいときは、一旦タイマー節電をやめてから、開始したい時間にもう一度「タイマー節電入／切」スイッチを押してください。

おまかせ節電のしかた

おまかせ節電とは…

◎ トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動的に便座の温度を下げて節電します。

● 同じ時間帯に1週間のうち2回程度のご使用であれば、あまり使用しない時間として節電していきます。

■ おまかせ節電をするとき

❶ 補助操作部の「おまかせ節電入／切」スイッチを押す

自動的に便座の温度を下げて、節電を始めます。

● 補助操作部の「おまかせ節電」ランプが点灯します。
● あまり使用しない時間になると操作部の「節電中」ランプ(オレンジ色)が点灯します。

アドバイス 3・4

■ おまかせ節電をやめるとき

❶「おまかせ節電入／切」スイッチを押す

おまかせ節電をやめます。

● 補助操作部の「おまかせ節電」ランプが消灯します。
● 操作部の「運転」ランプが点灯します。

アドバイス 3

● トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2〜3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。
● おまかせ節電中の便座温度は約26℃に設定しています。

アドバイス 4

おまかせ節電中でも使えます

● 節電中でも便座に座れば、一時的に便座をあたためます。
● 便座があたたまるまで約5分かかります。

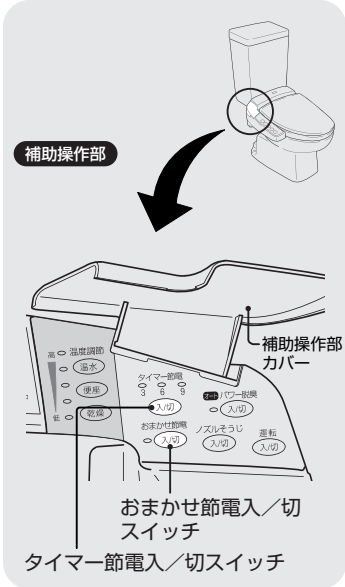
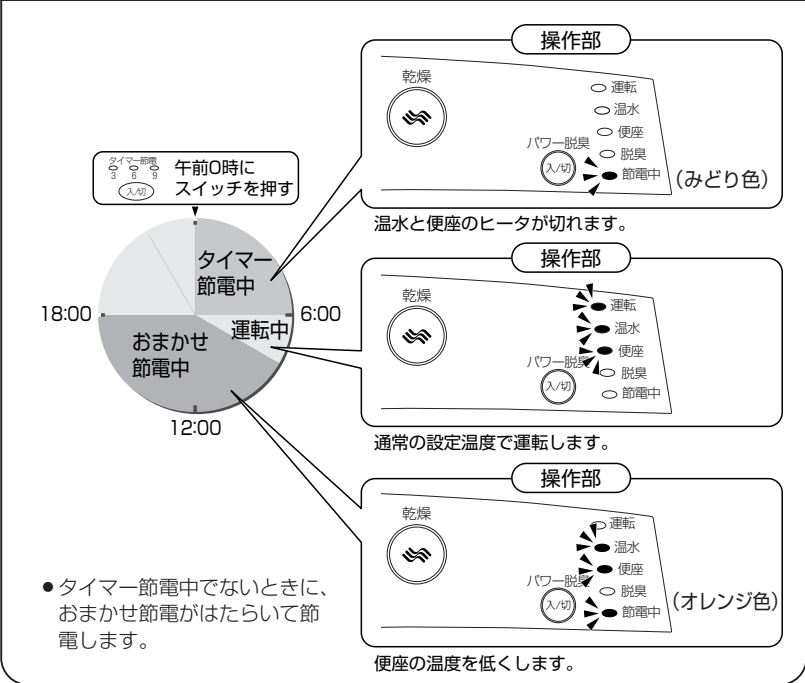
タイマー節電とおまかせ節電の両方を使うとき

◎ スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

❶ 節電を開始したい時間に、補助操作部の「タイマー節電入／切」スイッチを押す

● 詳しくは、「タイマー節電のしかた」
☞ 16ページをご覧ください。

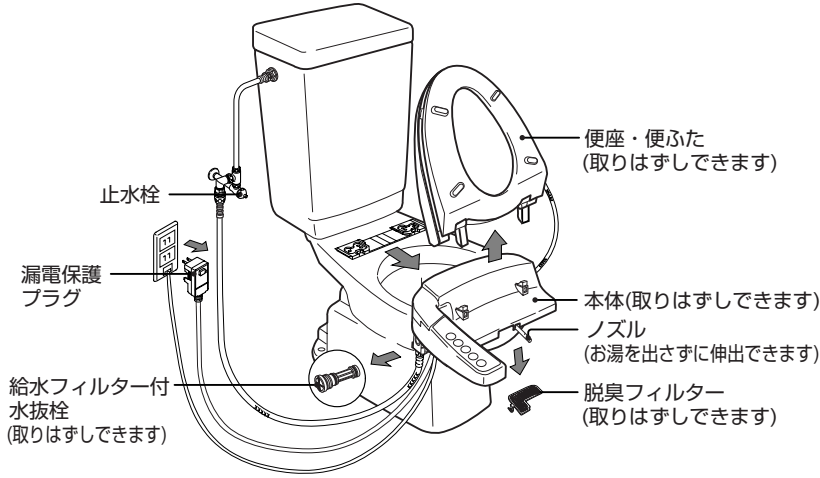
❷「おまかせ節電入／切」スイッチを押す

● 詳しくは、「おまかせ節電のしかた」
☞ 17ページをご覧ください。

たとえば、次のように節電します

● タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて節電します。

9 お手入れのしかた

いつまでも快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

お手入れの前に

■ 各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます

日常のお手入れ

■ 本体，便座，便ふたのお手入れ

❶ やわらかい布で水ぶきする

● 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。

☞ アドバイス 1・2

❷ 汚れがひどいときは…

● ウォシュレットクリーナー又はうすめた台所用洗剤（中性）をふくませたやわらかい布でふき取ってください。

● その後、水ぶきを行ってください。
ウォシュレットクリーナーのお求めは
☞ 30ページ

❸ 便器用洗剤がウォシュレットに付着したときは…

● やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。

アドバイス 1

● 製品はプラスチックでできていますので、乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。

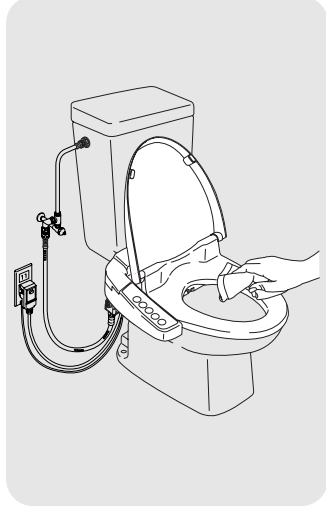
アドバイス 2

● ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。
洗剤が本体と便器のすき間に残らないようしっかりふき取ってください。

アドバイス 3

● 着座センサー窓をきれいにしましょう。汚れていると各機能が作動しません。
☞10，27ページ

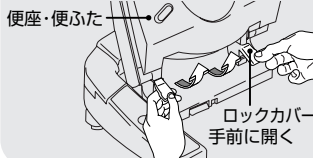
便器内を洗剤でお手入れするときは…

● 便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目(3分以内)に洗い流した後、便座･便ふたは開けたままにしておいてください。また、便器についた洗剤は確実にふきとってください。(便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。)

念入りなお手入れ

■ 本体，便座，便ふたのお手入れ（週に1度が目安です）

◎ 便座・便ふたが取りはずせますので、すみずみまで掃除できます。

❶ロックカバーを開ける

● 便座・便ふたを開け、左右のロックカバーを手前に開いてください。

❷便座・便ふたを引き上げる

● 便座・便ふたの左右を両手で持ち､真上に引き上げてください。 ☞ アドバイス 1

※便座コードははずせません。

※斜めに引き上げたり、無理な力を加えないでください。（破損の原因になります。）

● 便座・便ふたを真上に引き上げる

❸掃除をする

● 詳しくは☞19ページの「日常のお手入れ」をご覧ください。

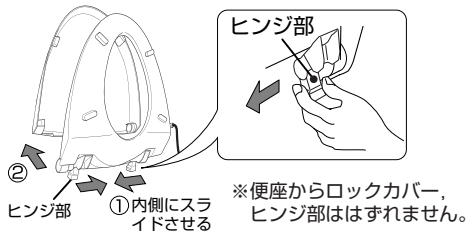
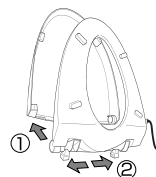
アドバイス 1

● 取りはずした便座・便ふたは傷がつかないようにして置いてください。

● 便座・便ふたを取りはずして掃除するときは、本体を取りはずさないでください。（床や便器内に落とし、故障の原因になります。）

ちょっと一言…便座から便ふたをはずすことができます。

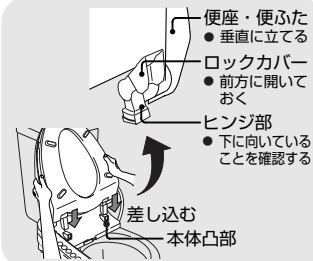
【取りはずしかた】
①左右のヒンジ部を内側に動かす。
②便座と便ふたがはずれます。

※便座からロックカバー，ヒンジ部ははずれません。

【取り付けかた】
①便ふたの上に便座を合わせる。
②左右のヒンジ部を外側に動かす。

❹便座・便ふたを取り付ける

● 左右のヒンジ部を下に向けてください。

● 便座・便ふたのヒンジ部を本体凸部に合わせて差し込んでください。

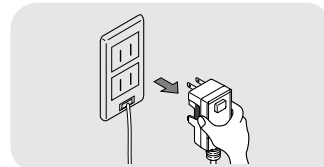
※便座コードを便器と便座の間にはさまないようにしてください。

※便座コードをねじったまま取り付けないでください。

❺ロックカバーを閉める

● 左右のロックカバーを「カチッ」と音がするまで、確実に閉めてください。

■ 本体と便器のすき間のお手入れ（月に1度が目安です）

◎ 本体を取りはずして、便器の上面や本体底面も掃除できます。

❶漏電保護プラグを抜く

❷本体を取りはずす ☞ アドバイス 2

● 本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、本体を手前に引いてください。

※連結ホース，アース線がありますので、無理に引っ張らないでください。

本体はずしボタン（及び水抜きレバー）
● 押したまま本体を手前に引く
ベースプレート

❸掃除をする

● お手入れのしかたは☞19ページの「日常のお手入れ」をご覧ください。

❹本体を取り付ける

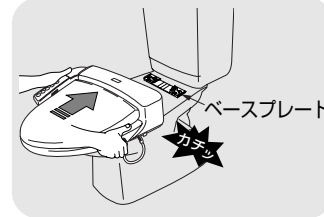
● 本体の中心とベースプレートの中心を合わせてください。

● 便器面に本体をすべらせるように押し込んでください。

●「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。

※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

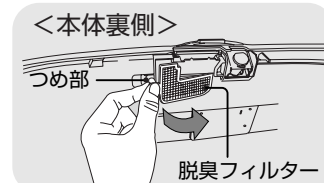
☞ アドバイス 3

ベースプレート
カチッ

■ 脱臭フィルターのお手入れ（SA・SBのみ）

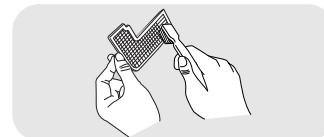
◎ 本体を取りはずしてから脱臭フィルターのお手入れを行ってください。

❶脱臭フィルターをはずす

● 脱臭フィルターの左側にあるつめ部を指で押しながら、手前に引いてください。

<本体裏側>
つめ部
脱臭フィルター

❷掃除をする

● 脱臭フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。

☞ アドバイス 4

❸脱臭フィルターを取り付ける

●「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

アドバイス 2

● 本体をはずした状態で本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引くと製品内の水が出てきます。（約1.2L）
本体はずしボタン（及び水抜きレバー）は水抜きのとき以外は引かないでください。

アドバイス 3

● ベースプレートに「本体着脱検出用スイッチ」が内蔵されています。

アドバイス 4

脱臭フィルターの掃除

● はずしたフィルターは水洗いできますが、取り付ける前に水気を取ってください。

脱臭フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。

※詳しくは☞30ページ「交換部品／別売品」をご覧ください。

その他のお手入れ

■ 漏電保護プラグのお手入れ・点検

◎ 漏電保護プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

❶ 漏電保護プラグを抜く

❷ 掃除をする

● 漏電保護プラグに付いたほこりを乾いた布で取り除いてください。

❸ 漏電保護プラグを差し込む

❹ 点検をする

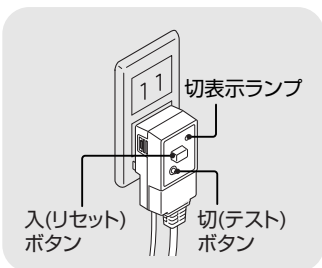
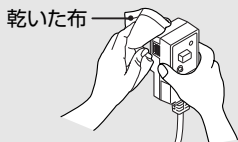
● 「切(テスト)」ボタンを押す。
（「切表示」ランプが点灯します。）

 アドバイス 1

● 「入(リセット)」ボタンを押す。
（「切表示」ランプが消灯します。）

以上の動作であれば正常です。

アドバイス 1

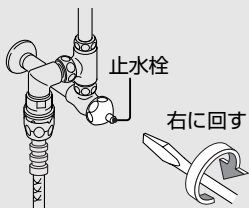
● 「切(テスト)」ボタンを押すとタイマー節電が「切」になります。再度設定し直してください。
おまかせ節電は、その日の節電運転がはたらかない場合がありますが、翌日からはもとのとおりにはたらくようになります。

■ 給水フィルター付水抜栓のお手入れ

◎ おしり・ビデ洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルター付水抜栓のお手入れを行ってください。

❶ 止水栓を閉めて給水を止める

● 止水栓を ⊖ ドライバーで止まるまで閉めてください。

⚠ 注意
禁止
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
● 水が噴き出します。

● 「ノズルそうじ入／切」スイッチを押し、ノズルを伸出させた後、もう一度同スイッチを押してください。（給水管内の圧抜きをします。）

❷ 給水フィルター付水抜栓をはずす

● 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーなどで左に回してゆるめた後、引っ張ってはずしてください。

❸ 掃除をする

● フィルターに付いているゴミを水洗いして取り除いてください。
※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
● 給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取りのぞいてください。

アドバイス 2

アドバイス 2

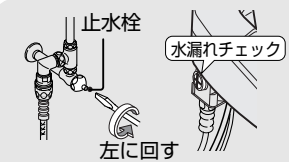
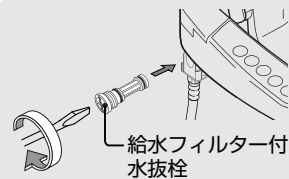
フィルターの掃除
● 洗剤は使わず水洗いしてください。
● フィルターの部分は、はずしたり破ったりしないでください。
フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。
※詳しくは 30ページ「交換部品／別売品」をご覧ください。

❹ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

● 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ ドライバーなどで右に回して止まるまで確実に締めてください。

⚠ 注意
必ず守る
給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
● 確実に締めないと、水漏れの原因になります。

❺ 止水栓を開ける

● 止水栓を⊖ドライバーで開けてください。
● 給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。

■ ノズルのお手入れ

◎ ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

❶ ノズルを出す

● 補助操作部の「ノズルそうじ入／切」スイッチを押してください。

ノズルが出てきます。

● ノズルは、約5分後に自動的に収納します。

アドバイス 3

● ノズルの根元からおそうじのための水が出ます。

❷ 掃除をする

● やわらかい布で水ぶきをしてください。
※ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。
（破損や故障の原因になります。）

❸ ノズルを収納する

● もう一度「ノズルそうじ入／切」スイッチを押してください。

ノズルが収納し、自動的にノズルを洗浄します。

お手入れ

10 凍結による破損の予防

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは、水抜きを行ってください。

アドバイス 1

● ロータンクの水が流れ出てしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。

アドバイス 2

凍結が予想されるとき

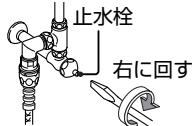
● 節電はひかえてください。
凍結により製品が破損することがあります。
● タイマー節電をやめるときは 16ページ
● おまかせ節電をやめるときは 17ページ

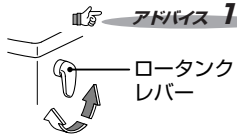
凍結が予想されるとき

◎ 製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。

水抜きのしかた

1.ロータンクの水を抜く

❶止水栓を⊖ドライバーで閉めて、給水を止めてください。

❷ロータンクレバーを回し、ロータンクの水を完全に抜いてください。

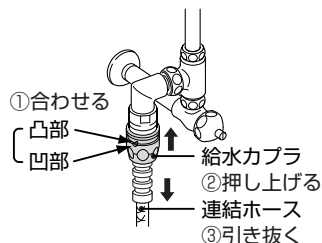
アドバイス 1

2.配管の水を抜く

❶補助操作部の「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す。(製品内の残水を抜きます。)

❷給水フィルター付水抜栓をはずす。
給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーなどで左に回してゆるめた後、引っ張ってはずしてください。

⚠注意

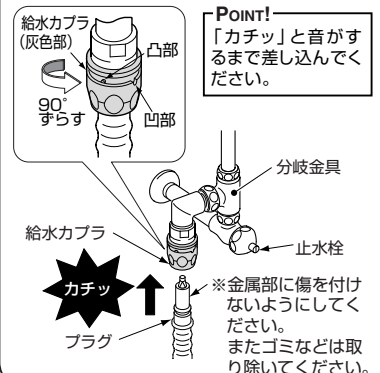
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
● 水が噴き出します。

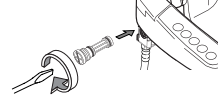
❸連結ホースを給水カプラからはずし、先端を容器で受ける。

❹再度、「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す。

3.連結ホースを接続する。

❶連結ホースを分岐金具の給水カプラに差し込む。
(給水カプラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)

POINT!
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

※金属部に傷を付けないようにしてください。
またゴミなどは取り除いてください。

4.給水フィルター付水抜栓を取り付ける

❶給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーなどで右に回して止まるまで確実に締めてください。

⚠注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
● 確実に締めないと、水漏れの原因になります。

5.運転入/切スイッチが「入」であることを確認する

❶補助操作部のカバーを開け「運転入／切」スイッチを「入」にし、温水・便座温度の設定を「高」にしてください。
❷便座・便ふたを閉じてください。

長期間使用しないとき

◎ 長期間使用しないときの急な冷え込みにそなえて水抜きを行ってください。

アドバイス 3

水抜きのしかた

1.ロータンクの水を抜く 24ページ

2.配管の水を抜く 24ページ

3.漏電保護プラグを抜く

4.本体を取りはずす

● 本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、本体を手前に引いてください。

5.本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引いて本体内の水を抜く

※本体をはずさないと水抜きレバーは引けません。

● ノズルの横から水が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。

6.本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を戻す

7.本体を取り付ける

● 本体の中心とベースプレートの中心を合わせてください。
● 便器面に本体をすべらせるように押し込んでください。
● 「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。
※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

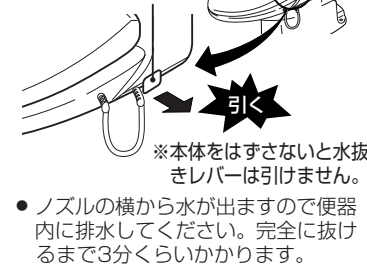
アドバイス 4

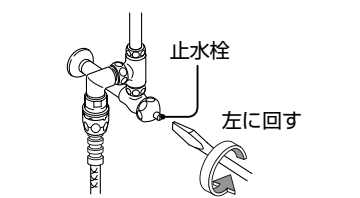
8.連結ホースを接続する

24ページ

9.給水フィルター付水抜栓を取り付ける 24ページ

10.便器に不凍液を入れる

アドバイス 5

水抜き後に再通水するとき

1.止水栓を⊖ドライバーで開ける

● 配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。

2.漏電保護プラグをコンセントに差し込む

3.ノズルから吐水させる

● 着座センサーを白紙でおおい、(おしり)又は(やわらか)(ビデ)を押してノズルから吐水させます。(水は手のひらやぞうきんなどで受けてください。) アドバイス 6

アドバイス 3

■冬季に帰省されるとき
■別荘などで使用されるとき

● 水抜きをしましょう!
冬季の留守のときは意外と冷え込みが厳しくなります。
再びご使用になるときのために忘れずに水を抜いてください。

アドバイス 4

● ベースプレートに「本体着脱検出用スイッチ」が内蔵されています。

アドバイス 5

● 便器に残る溜水には、不凍液を入れておくとより安心できます。

アドバイス 6

残水が凍結して水が出ないときは・・・

● 連結ホース及び止水栓の残水が凍結していることがありますので、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で連結ホースや止水栓をあたためてください。

故障かな?!と思ったら

故障かな?と思ったらまずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。
それでも直らないときは、お取付店,販売店又は東陶メンテナンス（株）にご相談ください。

連絡先
東陶メンテナンス（株）
0120-1010-05
受付（年中無休）
受付時間
関東・甲信越地区
8:00～20:00
上記以外の地区
9:00～20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間
9:00～18:00

修理に伺うまで、漏電保護プラグは必ず抜いておいてください。

注意
必ず守る
水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める。

■修理を依頼する前に次のことを確認してください。

全機能

現象	原因	処置
全く動かない	停電したりブレーカーが切れていませんか。	停電が復帰するまで待ってください。またブレーカーを「入」にしてください。
	漏電保護プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入(リセット)」ボタンを押してください。 ☞22ページ
	操作部の「運転」ランプが消灯していませんか。	補助操作部の「運転入/切」スイッチを押してください。☞9ページ
	本体が便器からはずれていませんか。	本体を便器にセットし直してください。 ☞21ページ

おしり・ビデ洗浄

現象	原因	処置
洗浄水が冷たい	温水ヒータが「切」、又は温水温度の設定が低くなっていませんか。	温水温度の設定を「入」又は「高」にしてください。 ☞12ページ
洗浄水が出ない	断水していませんか。	（止）を押し、断水が解除するまで待ってください。
	止水栓が閉まっていませんか。	止水栓を開いてください。 ☞9ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞27ページ
洗浄水勢が弱い	フィルターが詰まっていませんか。	給水フィルター付水抜栓を掃除してください。 ☞22ページ
洗浄水が途中で止まった	（おしり）（やわらか）又は（ビデ）を押してから、約5分後に自動的に止まります。	再度（おしり）（やわらか）又は（ビデ）を押してください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞27ページ

温風乾燥（SA・SCのみ）

現象	原因	処置
温風温度が低い	乾燥温度の設定が低くなっていませんか。	乾燥温度の設定を「高」にしてください。 ☞13ページ
温風乾燥が途中で止まった	（乾燥）を押してから約10分後に自動的に止まります。	再度（乾燥）を押してください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞27ページ
温風乾燥が全く動かない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞27ページ

暖房便座

現象	原因	処置
便座があたたかくならない。	便座ヒータが「切」、又は便座温度の設定が低くなっていませんか。	便座温度の設定を「入」又は「高」にしてください。 ☞12ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座ってから約15分お待ちください。 ☞16ページ
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ってから約5分お待ちください。 ☞17ページ

ソフト閉止

現象	原因	処置
便座・便ふたカバーをつけると閉まりかたが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。故障ではありません。	――
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって速さが変わります。故障ではありません。	――

着座センサー

現象	原因	処置
便座に座っていないのにスイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていませんか。	着座センサーをおおわないようにしてください。 ☞8,10ページ
	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのにおしり洗浄や脱臭などが作動しない	座り方、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	座り方をかえたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で着座センサーがおおわれていませんか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服又はゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。

脱　臭（SA・SBのみ）

現象	原因	処置
離座すると脱臭の音が大きくなる	はじめは、「オートパワー脱臭入/切」スイッチが「入」になっています。オートパワー脱臭は離座後、吸い込む力をアップさせて脱臭するように設定されています。	――
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞上記
脱臭が途中で止まった	2時間以上座っていると、自動的に脱臭が止まります。	座り直すと、はたらきます。
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていませんか。	脱臭フィルターを掃除してください。 ☞21ページ
脱臭が勝手に作動した	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。●掃除時 ●便器洗浄レバーを操作したときなど	――

節電機能

現象	原因	処置
おまかせ節電のスイッチを入れても節電しない	トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。	――
	同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	――
便座がときどきあたたまらない	タイマー節電中は、温水・便座のヒータを切っています。おまかせ節電中は、便座は低い温度になっています。いずれも便座に座るとあたたかくなります。	タイマー節電やおまかせ節電が設定されていないか、確認してください。 ☞16,17ページ
正しい時間に節電しない	電源を抜いたり、停電していませんか。（設定時間がずれることがあります。）	●タイマー節電は「入」にしてください。（電源が一度切れると「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします。）●おまかせ節電は翌日から通常通りはたらくようになります。 ☞16,17ページ

その他

現象	原因	処置
本体がガタつく	本体を固定しているベースプレートのボルトが緩んでいませんか。	ベースプレートのボルトをしっかり締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続部のナットがゆるんでいませんか。	モンキーレンチで増し締めしてください。

アフターサービス

アフターサービスについてはよくお読みのうえ、ご相談，修理，依頼など、お気軽にお申しつけください。

●保証書（裏表紙に記載してあります。）

- この説明書は保証書付です。必ず「お取付店名、お取付日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お取付日から1ヵ年です。

●補修用性能部品の最低保有期間

- ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
  なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●部品交換について

- 無料修理により交換された部品・製品は**東陶機器(株)**の所有となります。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めのお取付店、販売店または**東陶メンテナンス(株)**に修理を依頼してください。
  保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

■ご住所、ご氏名、電話番号
■製品名
品番（TCF・・・）……………………※便ふたの裏をご覧ください。
お取付日……………………………※裏表紙の保証書をご覧ください。
■訪問ご希望日

●保証期間経過後修理を依頼されるとき

- お求めのお取付店、販売店または**東陶メンテナンス(株)**にまずご相談ください。
  修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

●お引っ越しされるとき

- お引っ越しの際の取りはずしと取り付けは、お近くの工事店又は**東陶メンテナンス(株)**にご依頼ください。

定期点検のおすすめ（有料）

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。
  （水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。）
- 機能部品は、お取付日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。
  なお、点検は**東陶メンテナンス(株)**にご依頼ください。

<お問い合わせ先>
東陶メンテナンス(株) フリーダイヤル 0120−1010−05
受付(年中無休)
受付時間：関東・甲信越地区　8：00〜20：00
　　　　　上記以外の地区　　9：00〜20：00
訪問修理(年中無休)
営業時間：　　　　　　　　　9：00〜18：00

- 定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日 付
お取付日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

13 仕様

仕 様

項 目			内 容
定格電源			交流100V　50/60Hz
定格消費電力			413W（SA・SB），411W（SC）
1時間当たりの標準消費電力量※1			33Wh
電源コード長さ（同アース線長さ）			1.0m（漏電保護プラグ付）
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄	約0.35〜0.90L/min（水圧0.2MPaのとき）
		やわらか洗浄	約0.40〜0.90L/min（水圧0.2MPaのとき）
		ビデ洗浄	約0.45〜1.00L/min（水圧0.2MPaのとき）
	吐水温度		温度調節範囲　切，約30〜40℃（5段階切り替え）
	ヒータ容量		350W
	タンク容量※2		1.14L
	安全装置		温度ヒューズ，温度過昇防止器，空焚き防止フロートスイッチ
	逆流防止装置		バキュームブレーカー，逆止弁
温風乾燥装置（SA･SCのみ）	温風温度※3		約40℃〜60℃（5段階切り替え）
	風量		0.3m³／min
	ヒータ容量		350W
	安全装置		温度ヒューズ
暖房便座	表面温度		温度調節範囲　切，約30〜40℃（5段階切り替え）
	ヒータ容量		50W
	安全装置		温度ヒューズ
脱臭機能（SA･SBのみ）	方式		O_2脱臭
	風量		標準モード：0.09m³／min，パワーモード：0.16m³／min以上
給水圧力			最低必要水圧：0.05MPa（流動時） 最高水圧：0.75MPa
給水温度			0〜35℃
周囲使用温度			0〜40℃
製品寸法	レギュラー		幅511㎜，奥行497㎜，高さ180㎜
	エロンゲート		幅511㎜，奥行527㎜，高さ180㎜
製品質量			5.2kg（SA），5.0kg（SB・SC）

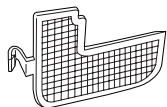
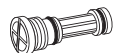
※1 測定条件：省エネ法に基づいて、便座サイズや湯沸し方式等の種類別の算定式により、4人家族（男性2人、女性2人）で1日あたり12回使用した場合を基準に年平均(室温15℃、水温15℃)で算出したものです。
タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算出しております。
※2 省エネ法に基づくお湯の量
※3 温風吹出口付近における当社測定点の温度

抗 菌

項目	内容
抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、操作部（表面シート）
抗菌剤の種類	無機系(銀)
抗菌性能持続性	(社)日本住宅設備システム協会基準により確認
安全性	(社)日本住宅設備システム協会基準により確認
禁止事項	酸性，アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

※ 抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。

交換部品

●脱臭フィルター(品番：D45339)

●給水フィルター付水抜栓(品番：D43284Z)

別売品

●ウォシュレットクリーナー

汚れをスッキリ落とす除菌剤配合の便座専用洗剤です。

■ウォシュレットをお取り付けの工事店, 販売店, TOTOパーツセンターでご購入できます。

【商品品番】YTC F1　希望小売価格:¥1,000（税込 ¥1,050）
送料:　¥500（税込　¥525）
容量:　185mL

※送料は1回のご購入金額が¥10,000（税込 ¥10,500）未満の場合は¥500（税込 ¥525）、¥10,000（税込 ¥10,500）以上の場合は無料とさせていただきます。

●便座・便ふたカバー(同梱の快適宅配便をご覧ください)

◎便座・便ふたカバーをお取り付けになるときは、TOTO専用カバーをお求めください。
※市販のカバーでは取り付けができない場合や便座が立たなかったり、誤動作の原因になることがあります。

■商品のお問い合わせはTOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日　9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）
インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

■部品のご購入はTOTOパーツセンターへ
0120-8282-55
受付時間：平日　9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）